

自然と暮らし、自然に学ぶ、豊かな暮らしを考える情報誌

と自由になろうぞ
TAKE FREE

2018.9
Autumn Issue

#28

ふんわり

[宮城版]

今年は
ホントに
暑かった…。

くりこま高原自然学校
工房はひふへほ「焼き板縁台」
サステイナライフ森の家
住まい手さま参加の家づくり

森林認証紙とライセンスを
使用して作りました。

ふんわりズム、 ふんわりスト。 ism + ist

よっちゃんのうじょう

よっちゃん農場

高橋 博之さん 道代さん

*Hiroyuki Takahashi,
Michiyo Takahashi*



それぞれの場所で輝きながら、
スツと立っている人がいます。
しかも、ふんわり。
そんな人たちに、会いにいきました。
ふんわりの、巻頭リレー。



足元を見直して。

大崎市、岩出山。国道を挟んで市街地とは反対の山の中？知る人ぞ知る「よっちゃんなんばん」の作り手、よっちゃん農場を訪ねました。

東京から戻り農家を継いだ博之さん。そこへ嫁いだ道代さん。「高橋さんの息子夫婦はさっぱり家さ居ねって言われで：初めは仙台ばかり見た。」変わったのは震災から。「もっと自分たちの足元を見直そうと。」地域で何が出来たかを考え始めました。「何だかフワフワしてたのが、そんで地に足がついたつちゃ。」と笑う道代さん。

なんばんづくりに加えて、3年前からお弁当も始めました。自分たちの作る商品と野菜、信頼する仲間から仕入れる拘りの素材のお弁当です。「手作りの良さ、土地の食、母の味。自分たちが美味え！って普段から思ってるものを知って欲しい。」と道代さん。お弁当の包紙は博之さんの手書き。「伝えたくて書き始めました。」この夏からは仲間と共に新しいケータリングサービス「農ドブル」を展開しています。

「夫婦の想いはそれだけに留まりません。荒れていた竹林も徐々に整備。採れる筍を温泉熱で干す加工を試しているところ。そこへ竹のジャングルジムを作ったのは、商品だけでなく、その後ろ側も伝えたくて。「この風景を、あいつもこいつも自分たちが面白いと思うものを、みんなで楽しめることをしたい。」博之さんが話すと、道代さんも「経済優先ばかりだとつまねっちゃん。」と呼応します。

自分たちのことだけでなく、仲間と、地域と共に生きよう、活かそう、まるごとみんなで楽しもうとする高橋さんご夫妻。最後に伝えたいことは？と質問すると「バンド作って3年目、10月にコンサート開きますーバンド名は『ミヤギノチルドレン』略してミヤチル！」趣味も思い切り楽しんでいます。【※10/20(土)・21(日)@伊豆沼農産。】



data & information

とにかく表情豊かなお二人。真剣さと軽やかさを帯びたその熱にどんどん惹き込まれます。

<http://nanban.jp>
〒989-6403 宮城県大崎市岩出山上野目字曲坂45
TEL&FAX 0229-72-3718 (電話は午後6時以降に)

こんなに商品が!?

畑の唐辛子で作られた商品たち。
味や辛さにたくさんのバリエーションが。

f-ist
28

Takahashi
Hiroyuki, Michiyo

fu-n-wa-ri contents



02	ふんわりズム、ふんわりスト。 よっちゃん農場 高橋博之さん 道代さん
04	手のひらに太陽の家 西日本豪雨災害から考える科学的思考の必要性
05	しんりん 森を守る新しい林業イノベーション 眠れる森への招待状〈番外編〉
06	ふんわりグッズプレゼント
06	ふんわレビュー ヒューマン・コメディ
07	くりこまくんえん 森のお手入れ
08	くりこま高原自然学校 すがっちコラム
08	工房はひふへほ 焼き板縁台
09	サスティナライフ 森の家 住まい手さま参加の家づくり
10	イベントカレンダー
12	わたしたちのこと



05 04



07

Cover Photo

栗駒山からやっほー！
親子キャンプで登山
にチャレンジ、紅葉の
じゅうたんが歓迎して
くれました。



この印刷物は地産地消・輸送マイレージに
配慮したライスインキを使用しています。

ふんわりではホチキスを使用していません。リサイクルするときの
ことを考えて、このような形でお届けします。ちょっと不便だけど
ちょっとやさしい。どうかご理解ください。

編集長 ぼすとすくりぷと

今年の栗駒山は木の実がたくさんなりそ
うです。色んな木の実と出会えるのが楽し
みですね。ブナ、ミズナラ、サルナシ、ヤ
マブドウ…山の生き物たちも厳しい冬を前
にしてワクワクしていることでしょう。皆さ
んにとっても実り多き秋でありますように。

No staples.
ホチキスを
使わずに。



手のひらに 太陽の家

tenohira-press | 通信 |

西日本豪雨災害から考える 科学的思考の必要性



一般社団法人 RQ 災害教育センターでは、西日本豪雨災害活動支援金、ボランティアを募集しています。詳細はホームページを御覧ください。

RQ 災害教育センター <http://rq-center.jp/>



8月9日、手のひらに太陽の家も関わりを持つ一般社団法人 RQ 災害教育センターが西日本豪雨災害の復旧支援のために設けた拠点がある広島市安芸区矢野に行ってきました。

何もなかったように人が往来する駅前を過ぎ、古くから城下町、港町として栄えた面影を残す町並みを通り抜け、山側に歩いていくと徐々に様相が変わってきます。橋の欄干に絡んだ草は枯れ、ところどころえぐれた護岸壁。剥がされたアスファルトはガードレールにもたれかかる。家の前には土囊袋の山。玄関につきささったままになっている車。窓も戸も壊され、木の枝やらゴミが混ざった土砂が入り込んでいる古民家。濁流の激しさを物語っています。

今回の西日本豪雨災害で被害が大きかった広島県ですが、全く予期せぬことでもなかったようです。安芸区矢野地区は、今年2月、川の上流に治水ダムが完成していました。大量の土砂はダムを超え、木も家も車もなぎ倒して流れて行きました。同じく被害がひどかった隣の坂町では、砂防ダムが跡形もなく

壊れていたそうです。建設から70年が経ち、老朽化していたことも原因と言われています。三原市の沼田川の氾濫は、上流にある治水・利水を目的とした多目的ダムへの流入量が多すぎに多く、放流調整を誤ってしまっただけの可能性があるとされています。どこも災害は予測されていたけれど、「想定外」であったというわけです。東日本大震災を思い出します。

近年、毎年のように大規模な自然災害が起こっています。自然環境が激しく変化しているのかもしれない。しかし、人は考える力があります。予測すること、災害から身を守ることができます。今こそ、私達は身の回りを見渡し、わが町を知り、自然を知り、絶えず科学的思考をリセットしていかなければならないのかもしれない。

RQ災害教育センターの活動現場



流れがひどくぶつかる箇所は護岸が崩れてしまっている



歴史を感じさせる古民家も全壊か？



お客様の車だったのか？



手のひらに太陽の家 TEL 0220-23-9755

一般社団法人くりこま高原自然学校

TEL&FAX 0228-46-2626 / E-mail kouei@kurikomans.com

facebook 手のひらに太陽の家プロジェクト

検索



mont-bell

ご興味のある方は
手のひらに太陽の家までご連絡ください。

手のひらに太陽の家では研修宿泊、ワークショップ、イベント時のレンタルスペースの利用など、ご希望にあわせてご相談に応じます。ぜひ一度お気軽にお問い合わせ下さい！

番外編「湯守の森プロジェクト 板倉マイスター講座2018開講！」

眠れる森への 招待状

百年以上の歴史を持つ鳴子の湯治宿、旅館大沼とNPO法人しんりんは、森を守り湯を守る、湯守の森プロジェクトを立ち上げ活動しています。

活動のメインは毎年開催している「板倉マイスター講座」。

木の香りいっぱいの3坪の小屋をみんなで建てます。小屋は日本古来の伝統的な板倉構法。第一人者、安藤邦廣先生（筑波大学名誉教授）に直接学べる貴重な講座です。刻みや建て方などの実技はサステイナライフ森の家の大工さんが指導してくれます。

木と木を組んで建てているから、耐久性があり、しかも解体して移築も可能です。

木が使われず、荒れていく日本の森。使いすぎても森林破壊だけど、使わなくても森林破壊。板倉の小屋は、人が森と仲良く暮らす方法を提案しています。

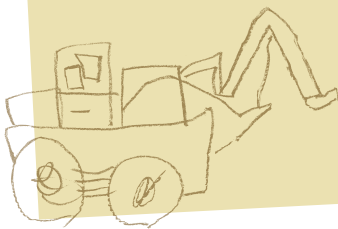
そして板倉をおススメする最大のポイント

は、何といってもその心地よさ…!! もう普通の家には戻れないかも? 初日には小屋の見学もあります。是非体験してみて下さい。

講座の日程はイベントカレンダーでチェック! 



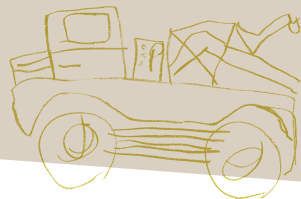
- ▶ イベントカレンダーの川の写真……以前、川流れに参加したことがあり、写真の川に飛び込む楽しさが浮かんできました。
- ▶ 手作りのすばらしさに感動しました!!
- ▶ 一関の“佐惣珈琲豆”さんで目にして、優しい色合いに惹かれ思わず手にしたしたいです。“お米のインク”に興味津々♥
- ▶ 工房はひふへほの「アルコールストーブ」は身近なもので誰でも簡単に作れそう。参考になりました。



- ▶ いろいろな情報のがっていて、楽しいですね!
- ▶ きこり箸ってどんなものか、見てみたいです。
- ▶ 今年、東北を旅行しました。どこも自然いっぱい、良かった。栗駒山にも登りました! (名古屋在住の方)

ふんわり
たんぽぽ

プレゼント応募はがきに書いていただいた、読者のみなさんからの感想を紹介します。



プグ
レッズ
ゼズ
わり
ント

1

present!

手のひらに太陽の家
ロゴマーク入り
クリアファイルセット
A4サイズ・4色8枚セット
【3名様】



巻末の応募券とともに希望の番号を書いてご応募ください。その際以下の項目もお書き添えくだされば嬉しいです。
【①ふんわりを読んだ感想(気持ちや気づき・編集部へのメッセージなど) ②プレゼントを選んだ理由・使い道③ふんわりを手に入れた場所】

2

森林木香 きこり箸
【3名様】



3

ふんわりと同じ
森林認証紙で作った
10x10x10cmメモ
【3名様】



FunwaReview

編集部員の本棚より

ヒューマン・
コメディ

コンカツ印刷有限会社
古川 大

W・サローヤン 著
関 汀子 訳
ちくま書房 (1993/8)
ISBN4-480-02764-5

舞台は第二次世界大戦中のアメリカ、電報配達の少年とその家族の物語。さまざまに綴られるエピソードがたくさん、の章となって並ぶ。書き出しから数ページでその埃くさい町にタイムスリップしてしまった。田舎町の半径数キロの出来事が描かれているだけなのに、全編を通して根底に流れる普遍的でなにか大きな思いにしばしば包まれているような気持ちになるのがたまらないのだ。

初めて読んだ時、冒頭に出てきた「大人になるまでは決して覚えておけないことを、そうやって手渡した」という表現にノックアウトされた記憶がある。当時よりいささかぼんやりしてしまったその儚く甘美な気持ちを、今回また包み直してしまっておこうという気持ちになった。折に触れてたびたび読み返してみたいと思う一冊。



森のお手入れ



毎日酷暑が続く栗駒で山のお手入れを行いました。昨年10月に植林を行った場所の草刈りです。植林した苗木は、草刈りをしてあげないと草に負けてしまいます。そんな訳で草刈りスタート!!

写真に写っているのは、今年入社
の新人キコリです!保護具もビシッ
と装着して暑さに負けず作業してい
ます。

植林を行った場所の草刈りは、気
を抜くと植えた苗木まで切ってしま
う為、慎重に刈り進める必要があり、
なかなかの重労働ですが、みらいの
森をつくる為には必要不可欠な作業
ですので、気を抜かず頑張ります。

new product



木のお皿

【新商品】

杉の端材から作っている
お皿です。ご興味のある
方はお問合せください!



(株)くりこまくんえんの一員として未来の森を
一緒に作ってくれる仲間を募集します。

職種：①製材作業員 ②営業
詳しくはお問合せください!!

一緒にみらいの森を
作りませんか?

KURIMOKU

株式会社くりこまくんえん

〒989-5401 宮城県栗原市鶯沢袋島巡44-7
☎0228-55-3261 info@kurimoku.com

<http://www.kurikomakunen.jp/>

SUGACCHI COLUMN

栗駒山の秋。紅葉日本一とも
言われるほど、ブナとミズナラ
をはじめ、広葉樹の豊かな森は、
秋が深まるごとに彩り豊かに変
化する。春夏秋冬の季節も素
晴らしいけれど、やっぱり栗駒
山の秋は最高。ここに住んでい
てよかった、と心の底から感じ
る季節。でも、のんびり見とれ
ているわけにもいかない。冬は
目の前。刻一刻と、風雪の季節
が近づいてくる。日が短くなる
ことを感じながらの冬支度は、
焦る。秋は、急ぎ足。

10月は毎年のように、山のふ
もとで栗駒牛の育成を行って
いる農家さんのところに手伝い
に行く。稲刈りが終わったあと、
田んぼで乾燥させたワラを、牛
たちの餌として保管するための
作業のお手伝い。機械化が進ん
でいるとはいえ、車に積んだり
下ろしたりは、やっぱり人間の労働。栗
駒周辺では、牛の育
成をしている農家さ
んが多かったのだ
が、この作業が苦に
なって牛を手放す家
も増えているとか。

きつい仕事だけど、辛いだけ
じゃない。一緒にいると自然と
笑顔が湧いてくるような、明る
く愉快な70代のご夫婦との楽し
みな時間。
東北の秋は美しく、豊かな食
と自然と、その中で労働の風
景がある。そんな秋はあとい
う間に過ぎて、森が、山が、静
かに静かに、冬に近づいている。
ついこないだ仕舞ったばかりの
ような気がする手袋や冬服に、
またお世話になります、と言っ
たりしながら。心はちょっとど
きどき揺れている。☑



すがっくくりこま高原自然
学校のスタッフで3児の子育
て中。天性のホスピタリティ
で来る人々をもてなし続けて
います。栗駒山にお越しの際
は、自然学校にも、いらっし
やい!



連れていくので、お役に立つて
いるのか不安なところ。でも「み
んなで仕事して一緒にごはん食
べれば楽しいでしょう」と、
働いた分以上もごちそうになっ
てしまふ、おやつやごはんの美
味しいこと!



塚原俊也

くりこま高原自然学
校のアクティビティ
担当。運営から指導
まで八面六臂の大活
躍。静かに燃える闘
志は炭火のように強
くて温かい。

焼き板縁台



材料と道具

- 1 材料の板の表面をガストーチで焼く※焼きすぎに注意
- 2 焼いた材料をたわしで磨いて煤をとりながら磨く
- 3 磨き終えた材料 / 4 ボンドや釘で材料を組み立てていく
- 5-6 完成 / 7-8 使用例

材料: 杉の板や端材 / 道具: ガストーチ、軍手、たわし、ボンド、釘、トンカチ



木材の端材で作る、ちょっとした縁台です。
焼き板は昔からの暮らしの知恵で、板を焼くこ
とで防虫防腐効果があります。作品としても木
目が浮き出て、風合いが増しますね。ほかに木
焼いた板にフックをつけて鍵かけにしたり、流
木を焼いてインテリアにしたり、アイデア次第
でいろんなものが作れます。秋の夜長のアップ
サイクルDIYはいかがでしょうが!! ※くれぐ
れも火事に気を付けて作業しましょう。

工房

koubou

はひふへほ
火歩平穂
つかやんが見たり・聞いたり・教わってきた、
暮らしに使えるクラフトをご紹介いたします。

住まい手さま参加の家づくり



墨付体験もして頂きました。



伐採した木の皮むきです。大黒柱へ変身しました。

左官ワークショップといえは
家族の手形です!!



の第一歩。まずは森の中で樹の命を感じていただき、大黒柱の伐採から体験していただくことをお勧めします。また、住みながら行える自然素材のお手入れ、メンテナンスにも役立つ床のワックス塗り。塗装体験や、左官体験などにも楽しみながらご参加ください!!過去には、ほとんどまるまる一棟、セルフビルドのお客様も(笑)

そしてご厚意により「心柱のある ふれあいの家」の完成見学会(予約制)を開催いたします。日程はイベントページで!!



自然をつなげる
持続可能で豊かな暮らし

サステナライフ森の家



家族みんなで、木部にエコ塗料を塗っていただきました。

「心柱のある ふれあいの家」では、住まい手さんも一緒に工事に関わって愛着のある家造りを行いました!!打合せ当初より「家づくりでは様々な作業にもぜひ参加してみたい!」と嬉しいお言葉をいただき、各工程でワークショップとして工夫。ご参加いただきました様子をダイジェスト版でご紹介します。

まずはスタートの一大イベント!!大黒柱の伐採!!です。NPO法人しんりんさんのアテンドにより、ご家族で1本の大黒柱になる木を選び、力を合わせ伐採いただきました。次にその丸太を大工さん指導のもと皮を剥いて、大黒柱に変身です!!他にも、壁の左官仕上げや、塗装なども、まだ小さいお子様も一緒に楽しみながら出来る事を家族みなでご参加いただきました。

可能な限り家造りに参加していただき、愛着を持って頂くことが、住み継がれていく家



とても気に入ってくれています(笑)!!

秋岳旅行へ 出かけよう。

しゅうがく



～紅葉のブナ林と悠久の巨木に会う歩き旅～ 栗駒山四季めぐりトレッキング秋編

図 10月～11月に開催予定

四季ごとに装いを変える栗駒山。ブナ・ミズナラの森の魅力をじっくりとお楽しみいただけます。紅葉の森と、樹齢千年といわれるクロベの巨木に会いにいきましょう！



板倉マイスター「刻み講座」

10月10/13(土)-14(日) (2日間)

板倉構法について学び、伝統の大工仕事「刻み」を体験！
1日12,000円

板倉マイスター「建て方講座」

11月3(土)-4(日) (2日間)

刻んだ材を使って、小屋づくりの実践！1日12,000円

板倉マイスター「建て方講座2」

11月24(土)-25(日) (2日間)

小屋の完成を目指す！1日12,000円



伐採ツアー in くりこま

11月9(金)-11(日) (2泊3日)

春に皮むきした木を切り倒します！夜は田中優さんのセミナー

モンベルフレンドフェア横浜

11月3(土), 4(日)

大人も子どもも楽しめる体験メニューが盛りだくさん！

森のようちえん・小学校 秋の親子キャンプ

☑ 9/29(土)・30(日) (1泊2日)

テーマは「は・ひ・ふ・へ・ほいく」自然の中で、大人も子どももリラックス♪2日目は栗駒山登山にチャレンジします！



森のようちえん・小学校

☑ 9/22(土), 10/28(日), 11/18(日), 11/24(土)

テーマは「は・ひ・ふ・へ・ほいく」！栗駒山の自然の中で、大人も子どももリラックス♪

MONフェスタ

☑ 11/13(火)~14(水)

「みやぎ野外教育ネットワーク」主催。宮城のアウトドア団体・実践者のための、ワークショップと交流の集いです。会場はAONE×MATKA(宮城県柴田郡川崎町)。野外教育・自然体験・青少年教育に関心がある人におすすめします。



手のひらに太陽の家 オープンディ

☑ 11月に開催予定

手のひらに太陽の家と、地域のみなさんとの交流のための1日です。ワークショップ、ステージ、手作り雑貨やおいしいフードの販売など、大人も子どもも楽しめる時間を提供します。

里山のお宝をいただく

☑ 毎月1回開催予定

四季折々の「めぐみ」をありがたういただき、季節に合った昔ながらの暮らしの楽しみを、ちょこり教えていただくという会「里山のお宝をいただく」。

2018
September-
December

f-calender

ふんわり関連イベントカレンダー

詳しい情報は巻末一覧から各団体HPをご覧ください。

秋の植林大イベント！

☑ 9/22(土)

宮城セブンの森にて



森の馬と遊ぼう♪

☑ 9/16(日), 10/21(日)

森で働くお馬が「あ・ら・伊達な道の駅」にやって来る！森のお仕事、応援してね！



一年を通してまごどハーブを楽しむ教室

☑ 9/30(日), 10/28(日), 11/25(日)

世界各国で育まれたハーブ文化を、四季を通してハーブを丸ごと楽しもうという講座です。みんなで楽しくハーブのあれやこれやを学んでみませんか？

完成見学会

心柱のある ふれあいの家

☑ 9/15(土), 16(日) 10:00-17:00

仙台市宮城野区鶴ヶ谷東《要予約》

完成見学会

家族が集い 伝統を受け継ぐ平屋

☑ 9/22(土), 23(日) 10:00-17:00

石巻市雄勝《予約不要》

ゆがふ時間 vol.8

☑ 11/18(日) 10:00-16:00

サスティナライフ森の家

K くりこま高原自然学校

M NPO法人 しんりん

S サスティナライフ 森の家

T 手のひらに太陽の家

R くりこまくんえん

わたしたちのこと。

ふんわりをキーワードに集まった私たち。
業種もフィールドも違うけど、ユニークでオンリーワンで、おもしろいことができそうです。

くりこま高原自然学校

☎ 0228-46-2626

宮城県栗原市栗駒沼倉耕英中 57-1

<http://kurikomans.com/>

栗駒山麓をフィールドに、栗駒山、ブナの森、世界谷地、湿原など大自然をご案内します。



KURIOKU

(株)くりこまくんえん

☎ 0228-55-3261

宮城県栗原市鶯沢袋島巡 44-7

<http://www.kurikomakunen.jp/>

伐採・製材・チップ・ベレットと一貫した事業を行っている、材木屋です。お客様が安心して暮らせる木材を提供しています。

NPO法人 しんりん

☎ 0229-25-4668

宮城県大崎市鳴子温泉宇玉ノ木 70 番地

エコラの森内

<http://shinrin.or.jp/>

森林再生と地域活性化を目指し、持続可能な森づくりとときこりの育成を実行中。



手のひらに太陽の家

☎ 0220-23-9755

宮城県登米市登米町寺池辺室山 17 番地 1

<http://taiyounoie.org/>

東日本大震災で被災した子どもたちを受け入れている復興共生住宅。環境教育、企業研修、レンタルスペースなど多面的に事業を展開中。



サスティナライフ 森の家

☎ 022-725-2775

宮城県仙台市泉区福岡字西森下 39-13

<http://www.sustainlife.co.jp/>

地域の資源や職人の技術を次代に受け継ぐ、「サスティナブルな暮らし」を提案する住宅会社。

記事執筆・お問合せ…
記事最後のアルファベットをご参照ください。

㊦ くりこま高原自然学校

㊧ NPO法人 しんりん

㊨ サスティナライフ森の家

㊩ 手のひらに太陽の家

㊪ くりこまくんえん

ふんわりに広告を載せてみませんか。

詳しくは編集部までお問合せください。

ふんわり 第28号

[宮城版]

[2018年9月10日] 季刊(年4回発行)

ふんわり編集部

〒981-3225

宮城県仙台市泉区福岡字西森下39-13

☎022-725-2775

funwariinfo@gmail.com

twitter  [funwari_miyagi](https://twitter.com/funwari_miyagi)

f [freefunwari](https://www.facebook.com/funwari)

Funwari report フンワリレポート!

販売店限定 栗駒山ピンバッチ

「山っていいね、を分かち合う。」をテーマとして、ピンズや手ぬぐいなど山をモチーフとしたグッズを製作している「Yamasanka」さんが製作した、販売店限定のピンバッチです! 全山紅葉の見事な栗駒山が表現されています。栗駒山登山の思い出に、ぜひお店で買い求めください。



ourthing 山と暮らしの道具店

宮城県栗原市栗駒岩ヶ崎六日町114-2F

営業時間 11時~18時

休業日 毎週水曜日、第2第4木曜日、不定休(農繁休業)

電話・FAX 0228-24-8305

メール ourthing@yamatokurashi.com

宮城版 5,000部

印刷:コンカツ印刷
岩手県一関市中央町1丁目7-16 ☎0191-48-5963

点検で切り取り、ご希望のプレゼント番号をそえてご応募ください。
2018年11月30日まで有効
応募券